

平成 27 年（2015 年）の十和田の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

低周波地震が 2 月に 1 回、3 月に 2 回発生しました。その他、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2015 年の発表履歴

2015 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

○ 2015 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1、図 2）

11 月 12 日に青森県の協力により実施した上空からの観測では、噴気及び地熱域¹⁾は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3、図 4）

低周波地震が 2 月に 1 回、3 月に 2 回発生しました。低周波地震の発生前後で地震活動に特段の変化はなく、今期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果によると、十和田付近の地殻変動に変化は認められていません。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、弘前大学、東北大学、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

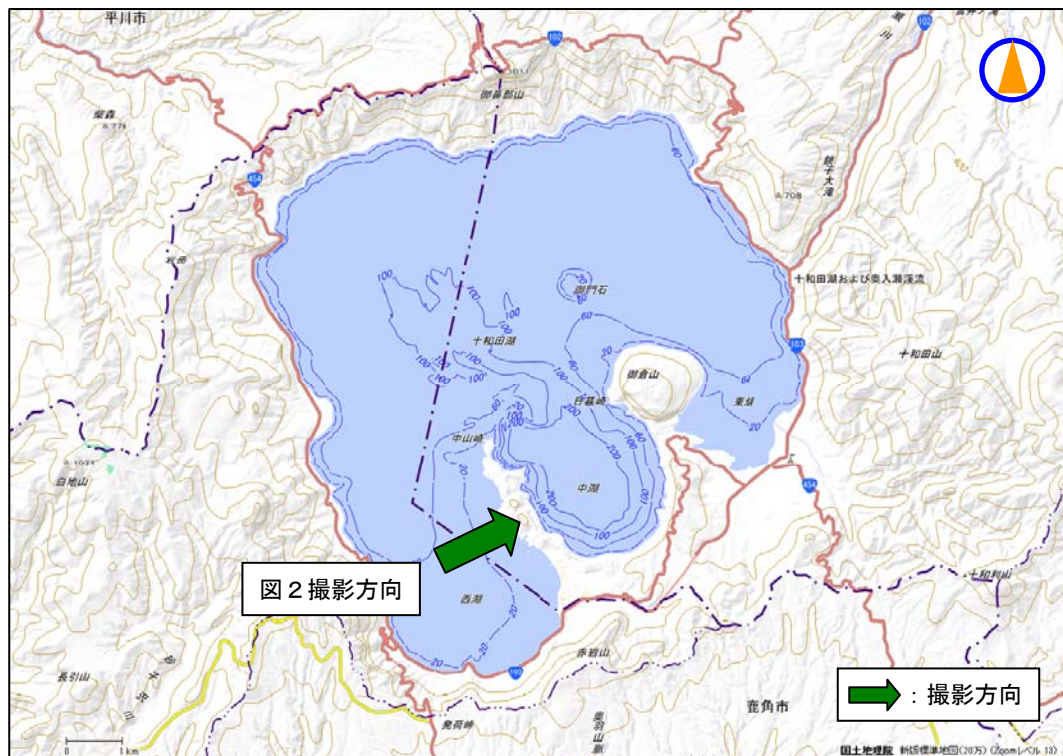


図1 十和田 上空からの御倉山と中湖の写真及び地表面温度分布¹⁾ 撮影方向

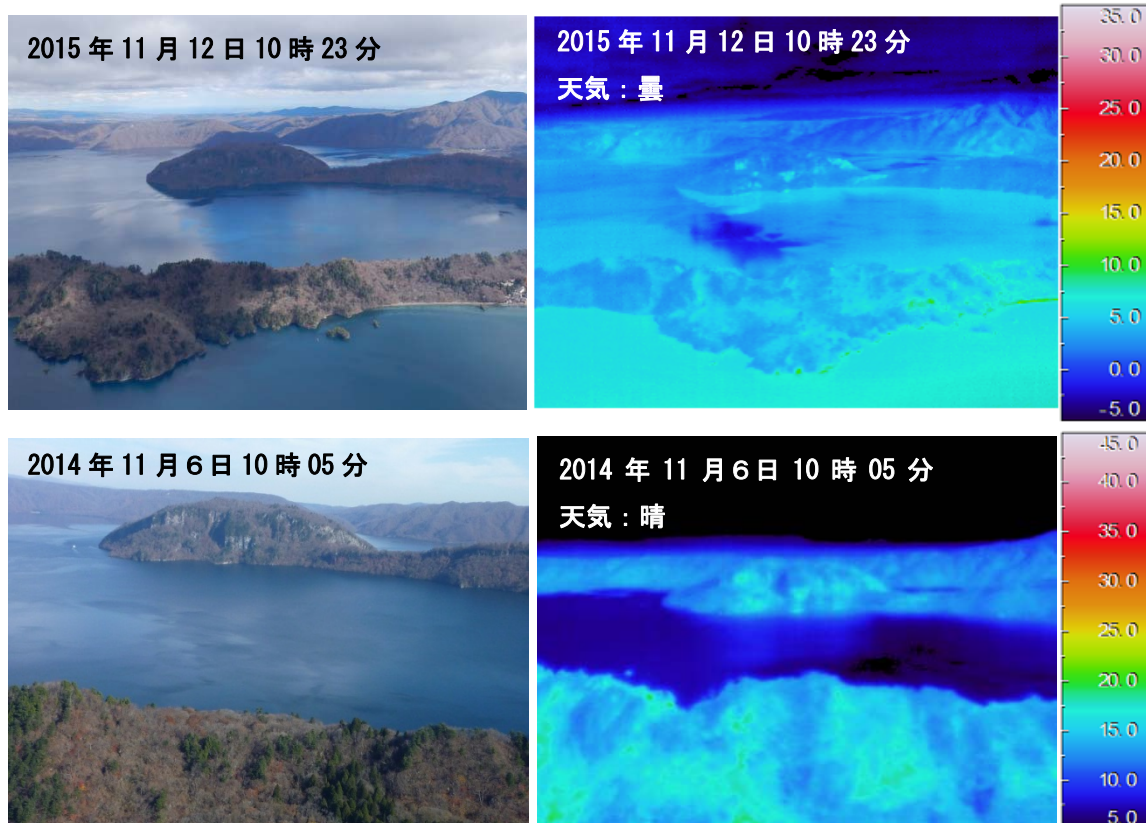


図2 十和田 御倉山及び中湖の状況と地表面温度分布

- ・噴気及び地熱域は認められませんでした。
- ・やや温度の高い領域は日射による影響です。

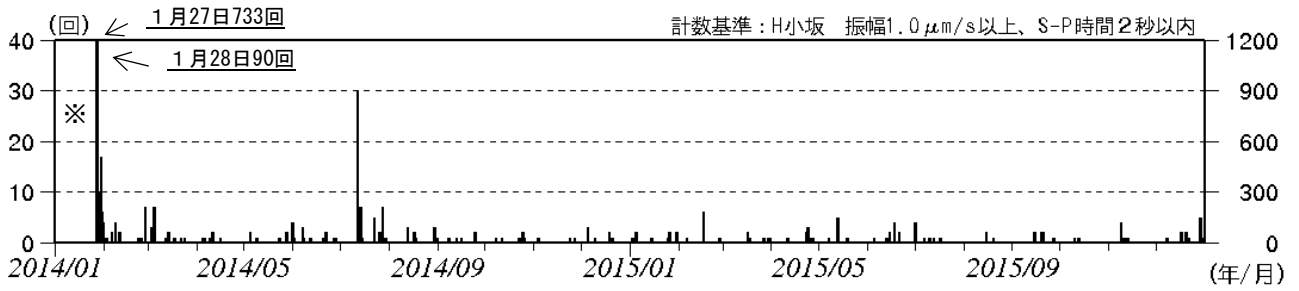


図3 十和田 火山活動経過図 (2014年1月~2015年12月)
 ※2014年1月27日より計数開始。

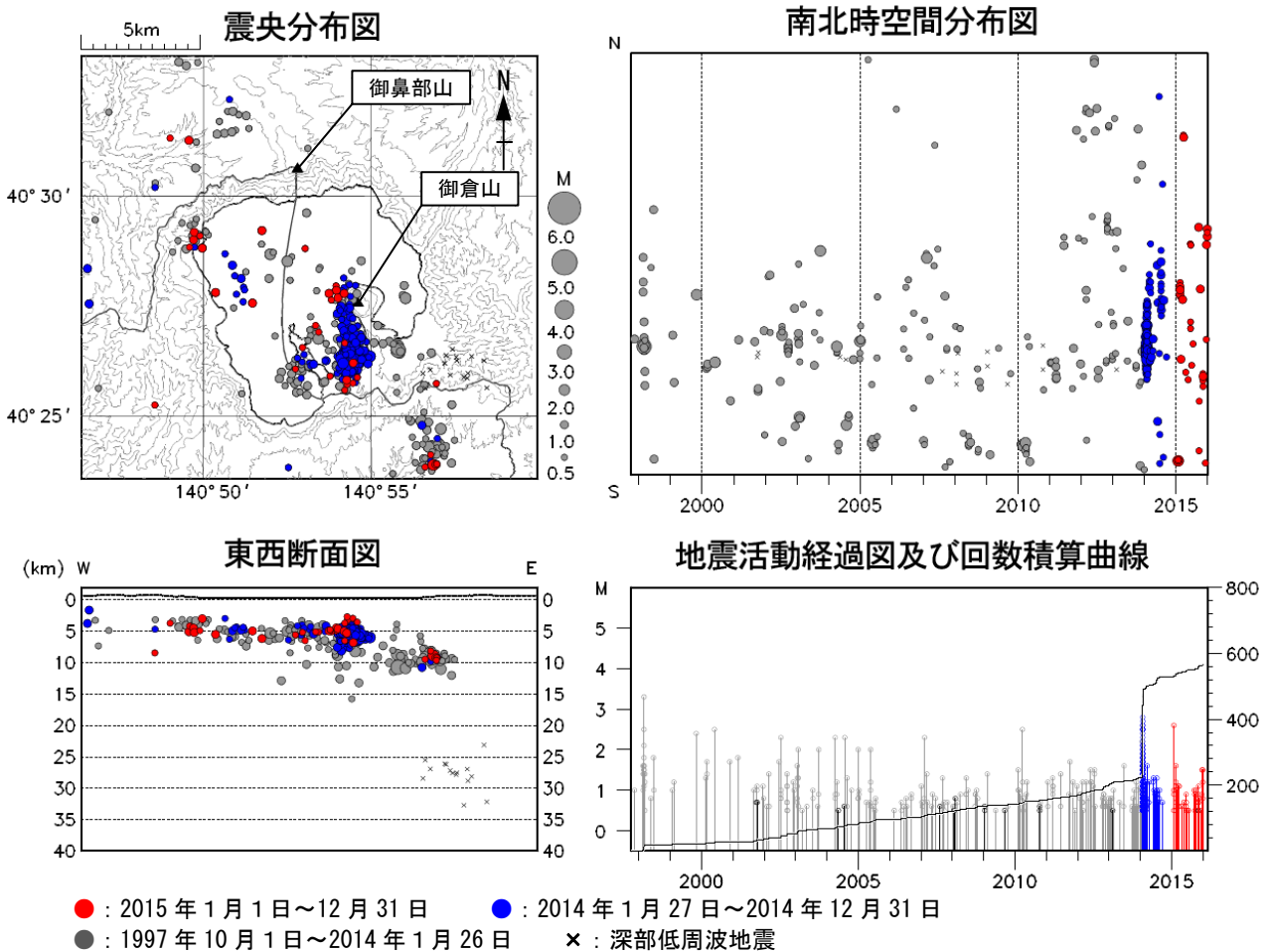


図4 十和田 広域地震観測網による十和田周辺の地震活動図 (1997年10月~2015年12月)

- ・2001年10月以降、検知能力が向上しています。
- ・深部低周波地震については、1999年9月から識別して登録を開始しました。
- ・マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値が含まれますので、後日変更することがあります。

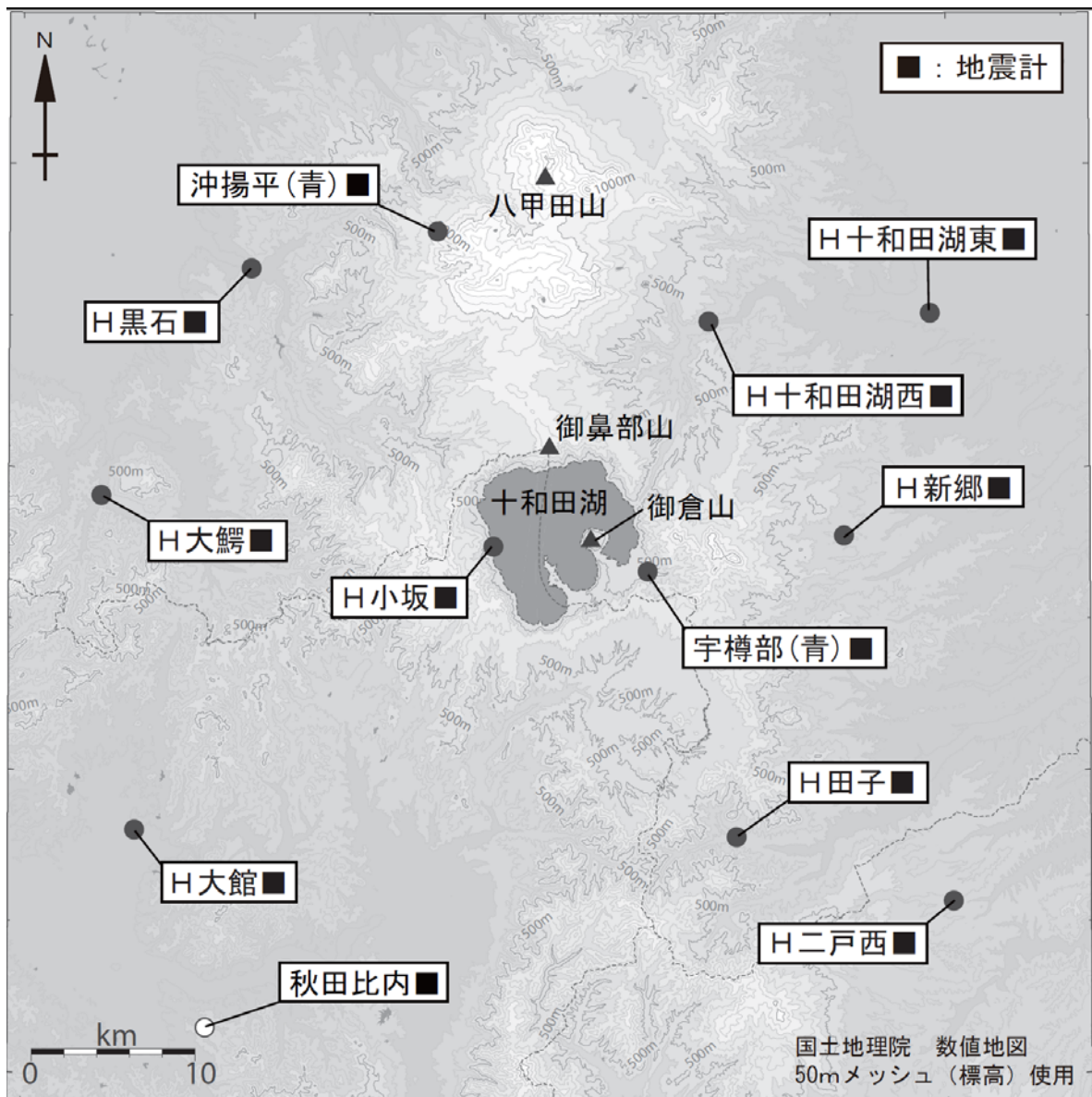


図 5 十和田周辺の地震観測点配置図

- ・ 小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 H : 防災科学技術研究所、(青) : 青森県